




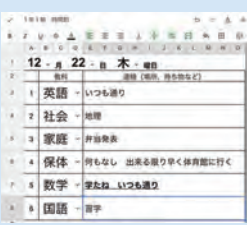


デジタル時代の気仙沼

「教育のDX」はじめての一步は「デジタル化」

小学5年生 プログラミングに挑戦！

現在の子どもたちは、生まれた時から、スマホやタブレットが空気のように当たり前存在する時代とともに成長してきました。それは、「社会」ですでにICT活用が「当たり前」になっていることを象徴しています。数年後、その社会に羽ばたいて活躍する子どもたちの資質・能力を育むために、「学校」でもICT活用が「当たり前」になるよう、気仙沼市でもICT活用を推進していきます。

【ICTを活用した生徒の一日】 ※活用の一例

登校前	授業	帰りの会	帰宅後
<p>自分の体調を「ロイロ・ノート」で提出。 欠席等の場合は、保護者が「Googleフォーム」で連絡。</p>  <p>[Googleフォーム]</p>	<p>「ロイロ・ノート」にログインし、予習課題の答え合わせを生徒同士で行う。 目標や計画を予め配信された単元計画で確認。 黒板に投影された二次元コードを読み取り、クイズ大会開幕。最後は、ベスト3が発表され、教室は大盛り上がり!! 学習内容と課題のスライドを確認。 今回の授業の内容を確認し授業が終わる。</p>   <p>【ロイロ・学たね】 家庭での予習課題をデータで事前に配付し、「提出箱」にアップロードしたり、生徒同士で答え合わせを行う。生徒は学たねに取り組んだうえで授業に臨む。</p> <p>【Kahoot!】 教育用のクイズアプリで、早押しで得点を競ったり、ミッションに学級全員で協力したりなど、教室でクイズ番組を再現することができる。楽しみながら知識の定着を図ることができる。</p>	<p>翌日の時間割や持ち物を「Googleクラスルーム」で確認。 帰宅後の計画や予定を「ロイロ・ノート」に提出。 タブレット端末は、スクールバッグにしまい、自宅へ持ち帰り。</p>  <p>[Googleクラスルーム]</p> <p>時間割や持ち物を確認したり、先生からの連絡や資料を受け取ったりすることができる。</p>	<p>「ロイロ・ノート」で予習課題に取り組む。 「タブレットドリル」で復習に取り組む。 「Googleクラスルーム」を見ながら翌日の準備。</p>  

※**ロイロ・ノート**とは、全国の小学校・中学校・高校などで導入されているクラウド型授業支援アプリです。調べ学習、情報の整理、意見の集約、発表、お互いの意見を共有する、撮影、録画、課題の提出、アンケート調査(学級、委員会活動)等で活用しています。

ICT活用のメリット

【児童・生徒】

- ・自分のペースで学習を進めることができる。 ・意見や回答をその場で共有することができる。
- ・病気や怪我などの理由で、通学できない児童・生徒と教室をつないだオンライン授業が可能になる。
- ・学習発表会の配信、オンラインでの授業参観の実施。
- ・オンラインを活用した他校、他地域との交流授業の実施。

